

茨城大学工学部都市システム工学科

# 新入生ガイダンス資料

2010年度版

村上 哲

2010/04

## 目次

1	都市システム工学科について	2
1.1	学科が目指す教育	2
1.2	都市システム工学科の教職員	2
1.3	クラス担任（学生担任）	3
2	授業を受け単位を取る	3
2.1	受講・定期試験・成績評価	3
2.2	授業科目の履修	4
2.3	卒業研究	5
2.4	進路	5
3	キャンパスライフを楽しむ	6
3.1	生活の基本	6
3.2	通学	6
3.3	連絡や各種情報	7
3.4	授業料・授業料免除・奨学金・貸付制度	8
3.5	学生保険	9
3.6	課外活動など	9
3.7	トラブルや困ったとき	9
3.8	都市システム工学科のイベントなど	9
4	主なスケジュール	10
4.1	学部・学科ガイダンス	10
4.2	ガイダンス以降の主なスケジュール	10

# 1 都市システム工学科について

## 1.1 学科が目指す教育

未来の都市環境に求められる、持続可能な社会を実現する「安全・環境・快適」の創造について学びます。

- 「安全の創造」に向けて、地震などの災害に対して強くしなやかにふるまう構造物の建設・維持・管理技術を学びます。
- 「環境の創造」に向けて、地球温暖化や水質・土壌汚染などに対する対応策、建設材料のリサイクルの方法および自然と共生する方法を学びます。
- 「快適の創造」に向けて、美しい空間を演出する景観デザインや都市計画の理論と実践について学びます。

学科での教育は、土木技術に対するこれら社会のニーズを反映し、少子高齢化・情報化・グローバル化に代表される社会変化にも対応しうる技術者の養成を目指しています。1981年度の学科創設以来27年の経験に加え、大学審議会、土木学会土木教育委員会、技術者教育認定機構(JABEE)※などの大学教育への提言にも配慮して、バランスのとれた授業を総合的に行なっています。

授業カリキュラムも社会のニーズに応じて継続的に見直しを行っており、最近では平成20年度には、履修科目を選択する際に重要科目がよりわかりやすくなることを目指した改定を実施しています。

※JABEEとは

日本技術者教育認定制度とは、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定制度です。日本技術者教育認定機構(JABEE: Japan Accreditation Board for Engineering Education / 設立1999年11月19日)が、各学科の教育プログラムが国際的な協定であるワシントン・アコードに基づいた教育が行われているかについて、技術系学協会と密接に連携しながら審査・認定を行います。そのことから認定制度のことも一般にJABEEと呼ばれます。本学科は平成18年にJABEEの認定を受けたことから、卒業生は「ワシントン・アコード認定プログラム修了生」として活躍できるようになりました。

## 1.2 都市システム工学科の教職員

都市システム工学科に所属する教員を、この資料の後半で紹介しています。学科のホームページ※などでも活動の紹介を見ることができます。各教員は授業を行なうほか、各自の特徴ある研究テーマを持ち、基礎的なあるいは応用的な研究を行っています。さらに国や各省庁の政策策定に貢献したり、国際的な評価を受けたりするなどの成果を上げています。

組織的には、建設工学大講座と都市システム計画大講座の2つの大講座に分かれて、研究グループを構成しています。3年次後半に研究室に仮配属され、4年次には教員とより身近に接しながら本格的に卒業研究の指導を受けることができます。

※学科のホームページ

都市システム工学科のホームページ(<http://www.civil.ibaraki.ac.jp/>)で、学科の研究や教育に関する大量の情報を提供しています。教員のE-mailアドレスも公開していますので、授業その他連絡が必要な場合には活用してください。

### 1.3 クラス担任（学生担任）

茨城本学では、学生生活をより豊かに過ごしてもらうために、学生生活を送る上で、迷ったり悩んだりすることの悩みなどの解決に必要な助言を与えるための体制として、学生担任制<sup>※1</sup>を設けています。

この制度は、将来の履修に関することや、大学生活に関することをはじめ、休学・退学、授業料免除及び転学部・転学科等の申請、並びに本学在籍中に他大学を受験する場合等において、担任教員から助言を受けることができるシステムとなっていますので、気軽に相談してください。

こうした相談内容は他に漏らすようなことは決してありませんのでご安心ください。

都市システム工学科では、履修相談、進路相談、その他の相談に乗ります。相談にのるだけでなく、みなさん一人ひとりの単位取得状況を確認して、安心と心配をします。また、3年次に実施するインターンシップ先の希望調査・調整、研究室配属など、みなさんが卒業するまで担当します。また、クラス委員<sup>※2</sup>（正副、男女各2名）を決めます。

2010年度入学生のクラス担任（正担任）は村上哲（准教授）<sup>※3</sup>です。クラス担任からみなさんへの連絡は、原則、電子メール<sup>※4</sup>を使います。

1年次（水戸地区在学中）には、クラス担任の他に、補助担任と副担任がいます。2010年度入学生の補助担任は三村信男教授<sup>※3</sup>です。副担任は、教育学部の向野康江准教授です。副担任は、クラス担任（正担任）と共に学生の支援に当たります。副担任は、緊急時に対応するための水戸地区学部教員が支援に当たります。

また、学科教員が水戸で授業を行なう機会<sup>※5</sup>も活用してください。

※1 クラス担任：都市システム工学科では、学生担任のことをクラス担任と呼んでいます。

※2 クラス委員：クラスと事務部あるいはクラス担任との連絡役をお願いします。

※3 連絡先：クラス担任と補助担任の連絡先は下記のとおりです。

- ・ 村上 哲 准教授：(0294) 38-5174、e-mail：murakami@mx.ibaraki.ac.jp
- ・ 三村信男 教授：(0294) 38-5169、e-mail：mimura@mx.ibaraki.ac.jp
- ・ 学科事務室：(0294) 38-5177 石川比奈子（先生の部屋に電話しても連絡がつかないとき）

※4 連絡先の報告：クラス担任は通常日立地区にいます。緊急の連絡もあることと、大学アドレスのメールチェックは常時できないと思いますので、みなさんの携帯電話のメールアドレスをクラス担任に以下の方法で教えてください。

- ・ 携帯から murakami@mx.ibaraki.ac.jp にメールを4月7日中に送る。
- ・ 学生番号、氏名をメール本文中に書く。（今日のガイダンスでわかりにくかったことなど、一言書いておいてもらえれば、2日目のガイダンスの際、フォローします。）
- ・ murakami@mx.ibaraki.ac.jp からのメールが受信できるようにしておくこと。

※5 学科教員が水戸で行う授業：

前学期「都市システム工学序論」、「情報処理概論」、「サステナビリティ学入門」

後学期「物理学（剛体の力学）」、「都市・地域計画」、「材料力学」、「測量学」、「都市システム工学ゼミナール A～E」、「陸・水圏環境科学」、「環境としての霞ヶ浦」

## 2 授業を受け単位を取る

### 2.1 受講・定期試験・成績評価

茨城大学は、1年間のうち前学期と後学期がある2学期制<sup>※1</sup>です。水戸地区は、土・日・祝日はお休みですが、夏季休業、冬季休業、春季休業の休業期間も含めて、お休みの日に

集中講義<sup>※2</sup>がある場合があります。

授業時間は1日5講時<sup>※3</sup>、1講時90分間です。90分の授業時間に慣れましょう。1科目15週分の授業を受けます<sup>※4</sup>。

15週分の授業の後に定期試験<sup>※5</sup>があります。授業によっては、レポートだけ、レポートと試験の両方、中間試験もある、などのいろいろなケースがあります。定期試験の受験にはルール<sup>※6</sup>があります。ルールを守りましょう。

成績は、一般的には、定期試験、レポート、授業中に随時行われる試験、出席状況などを総合して、A+~Eの6段階<sup>※5</sup>で判定されます。さらに、学生個人の総合成績として、次の式で計算されるGPA(Grade Point Average)ポイントを、授業料免除、奨学金、研究室配属、就職、大学院進学等における判断材料として利用します。良い成績を取ることを心がけてください。

$$\text{GPA} = \frac{(A+\text{の単位数}) \times 5 + (A\text{の単位数}) \times 4 + (B\text{の単位数}) \times 3 + (C\text{の単位数}) \times 2 + (D\text{の単位数}) \times 1}{\text{合計取得単位数}}$$

※1 2010年度各学期：【教養科目履修案内 見開きのページ（学年歴）】

※2 集中講義：【教養科目履修案内 p.13, p.22】

※3 授業時間：【教養科目履修案内 p.4】

※4 出席日数：【教養科目履修案内 p.24-26】総授業時間数の3分の2以上（健康・スポーツ科目は4分の3以上）の出席がないと定期試験を受験できない、成績が出ないということになります。授業担当教員は、すべての授業回数で1つの科目のストーリーを作っています。連続ドラマも見逃すと、展開が分からなくなりますね。授業は欠席しないことが大切です。真にやむを得ない事情の場合は欠席届を出すことができます。ただし、欠席届を出せば出席扱いになるとは限らないので注意してください。

※5 試験および成績評価：【教養科目履修案内 p.24-26】

※6 学力試験等における不正行為（カンニングやレポートを写す等）は懲戒処分として重く罰せられ、その該当する学期のすべての履修が認められません（一年留年することになります）。「机の中に間違っただけ教科書を残した」、「記憶するために小さい紙に書いて憶えたが、それを間違っただけポケットに入れていた」、等は不正行為と見なされます。懲戒処分が下されると学籍簿にその記録が残ります。

## 2.2 授業科目の履修

授業科目は、大きく分けて教養科目と専門科目の2つです。教養科目では、共通基礎科目、主題別科目があり、それぞれ必修単位数が定められています<sup>※1</sup>。専門科目では、必修科目、限定必修科目、選択科目があります<sup>※2</sup>。卒業に必要な総単位数、分野毎の修得単位数を考えて時間割を自分で組み受講します<sup>※3</sup>。卒業に必要な単位を考えて、計画的に履修しましょう。履修しても単位が取れない（不合格になる）場合があります。余裕をもった単位取得に心がけましょう。単位が足りないと残念ながら留年<sup>※4</sup>となります。卒業研究も就職もできません。また、教養科目の多くは水戸地区開講です。教養科目の単位は1年生の時に可能な限り取得しておきましょう<sup>※5</sup>。

本学科では5年前から、レベルに応じた英語教育を行なう「総合英語プログラム」を実施しています（達成レベルは卒業時に「レベル3」以上を習得していることが要求されます）。総合英語はあらかじめ決められたクラスを受講することとなります<sup>※6</sup>。専門科目に接続するための入門的科目（接続教育）として「微分積分基礎」、「力学基礎」が用意され

ています。ガイダンス中に実施されるテスト<sup>※7</sup>の結果によりこのクラスの受講生が決定します<sup>※8</sup>。

また、卒業時に得られる資格には、所定の授業科目の単位を取得しておかないといけな  
いものがあります<sup>※6</sup>。

なお、授業科目の履修には、履修科目の申告と登録の手続き<sup>※6</sup>が必要です。

※1 教養科目：【教養科目履修案内 p. 37-40】

※2 専門科目：【工学部履修案内 p. 19-20】

※3 「沢山ある科目からどのように履修すればよいか」について、本日午後の学科履修ガイダンスにて説明します。また、作成した時間割の確認、個別に相談や質問のある学生諸君のために、4月14日4講時に「履修相談室」を開きます。

※4 たとえば、外国語科目は6単位が必修です。総合英語の4単位と未修外国語2単位を1年次に修得すれば、外国語科目の必修単位数は揃います。なお、分野別基礎科目（人文）の「技術者倫理」（必修）は2年次工学部開講です。

※5 留年：4年生に進級する（卒業研究に着手する）時と卒業時には、定められた単位を履修していなければなりません。これは、卒業時において土木・建設系の広い範囲のなかのどこでも活躍できるよう最小限必要な能力を身につけることができるように決められたものです。今年度は2007年度入学生59名（編入生含む）中6名が卒業研究に着手できていません。

※6 4月9日（金）共通教育棟2号館2Fロビーの掲示板にて「総合英語」クラス分け結果が掲示されます。

※7 4月7日（水）13:00~14:30 微分積分学の基礎テスト（クラス分け小テスト40分）、力学の基礎テスト（クラス分け小テスト40分）を実施します。【教養科目履修案内 p. 37-38】

※8 4月9日（金）正午までに共通教育棟2号館2Fロビーの掲示板にてクラス分け結果が掲示されます。

※9 卒業後に得られる資格：【工学部履修案内 p. 59-61】【教養科目履修案内 p. 16-17】

都市システム工学科卒業後に得られる資格には次のようなものがあります。

技術士、高等学校教諭一種免許状（工業）、ボイラー技士、測量士、水道技術管理者、土木施工管理技士、建設機械施工技士、コンクリート技士・主任技士、コンクリート診断士、建築士、木造建築士

※10 履修科目の申告と登録：【教養科目履修案内 p. 18-23】

### 2.3 卒業研究

最終学年の1年間、研究室に配属し、研究テーマに取り組みます。1年間の研究の成果を1冊の卒業論文としてとりまとめ、卒業研究発表会で発表します。学会発表会など大学外で発表もできます。毎年、優秀発表賞を受賞<sup>※1</sup>しています。その成果が認められ、学長、学部長から表彰を受けています。

※1 都市システム工学科のホームページ (<http://www.civil.ibaraki.ac.jp/>) のニュースで最新の情報を見る  
ことができます。先輩たちの活躍を見てください。

### 2.4 進路

卒業後の進路で大いに悩んでください。大学後の進路選考では偏差値という数値はありません。待っていても就職先は決まりません。どんな仕事があるのか？、どんな仕事に就きたいか？、どんな仕事が自分を生かせるか？、友達と将来について語り合うのも自分の進みたい道を見つけ出す1つの方法です。

進路には大きく分けて、大学院進学（博士前期課程）と就職があります。

学部卒業は幅広い範囲で活躍する能力を身につけることが目標であったのに対し、大学院博士前期課程では、それらについてさらなる知識を習得するとともに、自分の希望する分野を選び、その分野での能力を養います。そして、その分野の最新技術にも対応できる能力を修得し、学術的にも評価される研究を行なうことを目指します。博士前期課程には

推薦入学制度があり、4年生までの成績優秀者は筆記試験が免除されます。平成20年度37%、平成21年度32%、ほぼ3人に1人が進学しています。

みなさんは、既に将来の職業について、イメージをつくっていますか？卒業生の就職先には、公務員、建設会社、コンサルタント、住宅会社、設備会社、鉄道会社、ソフトウェア会社もあります。文系と理系の就職活動は違います。ニュースでは20社内定をもらいました。などという報道がありますが、これは文系の就職活動。みなさんは技術者という人材になります。できるだけ早い時期に就職先の的確な情報を提供し、早めに就職や進学への意識を明確にできるように就職指導を行なっていますが、学生の皆さんも、学力は勿論のこと、人間力も大いに磨いて、積極的に自分の将来を考えてください（就職に強いのは、学業成績と、活発さ）。3年生になると、将来の進路を決定する必要があります※1。

※1 平成21年度の就職状況について(平成22年3月現在)

	進学	公務員 ／公団	建設会 社・道路	コンサ ルタン ト	設備・ 住宅	ソフト 情報	鉄道・エ ネルギー、他分 野	未定
学部	18	11	5	1	2	0	13	7*
大学院	0	3	7	6	1	1	3	2**

\* 公務員再受験、第一志望再受験、就職しない

\*\* 留学生

### 3 キャンパスライフを楽しむ

#### 3.1 生活の基本

みなさんは、一緒に入学した仲間。同期の絆を大切にして、楽しい有意義な大学生活を送り、一緒に卒業しましょう。卒業後も、一生つきあえる仲間です。

学力的にもそうですが、人間的にも社会的にも通用するような成長を期待しています。

教室での飲食や、授業での遅刻／私語／携帯電話／着帽はマナー違反です。地べたに座り込むこと、通路をふさぐこと、場所柄をわきまえず大声を出して騒ぐこと言語道断。言葉遣いは場をわきまえてください。挨拶する習慣。当たり前ですね。

また、「茨城大学ハラスメント防止・救済・対策ガイドライン」をよく読んで、ハラスメントの防止に心がけてください。

自動車、バイク、自転車による通学、キャンパスへの入構にはルール※1があります。守りましょう。

社会で通用する大人に成長してください。

※1 2010年度各学期：【教養科目履修案内 見開きのページ（学年歴）】

#### 3.2 通学

JR各路線、私鉄、バスの通学定期の通学証明書は、学務課証明関係窓口に申請し、証明書を受け取ることができます※1。自動車、バイク、自転車による通学、キャンパスへの入構にはルール※2があります。ルールを守りましょう。通学での交通事故に十分注意してください※3。

なお、強風、台風、積雪などの気象条件により、公共交通機関が遅延する場合があります

す。遅延証明書や欠席届出により授業の遅刻・欠席の理由となりますが、出席扱いになるとは限りません。悪天候が予想される日は、早めの登校を心がけましょう。

※1 通学証明書：【教養科目履修案内 p.105】

※2 入構ルール：【教養科目履修案内 p.106】

※3 平成19年度一年間で工学部学生（院生も含む）が事故を起こすか巻き込まれたかしました（自動車、自転車、徒歩）

### 3.3 連絡や各種情報

授業に関する連絡や募集の案内は、掲示板や電子メールを用いて行います。

掲示板は毎日を見ること。水戸地区の掲示板は、「教養科目掲示板」、「通教育棟2号館前」、「共通教育棟2号館玄関内の電子掲示板」、「正門を入れて左側の守衛所脇の中央掲示板」の4か所です。

茨城大学の学生さん、みなさんに、大学アドレスの電子メールアドレスが与えられます。電子メールは、就職後の仕事における一般的な通信手段です。電子メールを上手に使いこなせるようになりましょう。都市システム工学科教員からの連絡は主として、上述した掲示板と電子メールが利用されます。大学内では、IT基盤センター、図書館のコンピュータを自由に利用することができます。また、インターネットを利用して自宅でも電子メールを利用することができます。詳細は、1年次前学期科目「情報処理概論」第1回講義で説明します※1。必ず出席してください。クラス担任からの連絡も、原則、eメールを使います。緊急の連絡もあることと、最初のうちは、大学アドレスのメールチェックは常時できないと思いますので、みなさんの携帯電話のメールアドレスを下記のようにクラス担任（村上哲のメールアドレス：murakami@mx.ibaraki.ac.jp）まで連絡ください。

1. 携帯電話のメール受信アドレス制限をしている場合は、murakami@mx.ibaraki.ac.jpからのメールが受信できるように設定する。
2. 携帯からmurakami@mx.ibaraki.ac.jpに学生番号、氏名をメール本文中に書いたメールを送る。今日のガイダンスでわかりにくかったことなど、一言書いておいてもらえれば、2日目のガイダンスの際、フォローします。
3. 村上から受信できた旨の連絡が携帯メールに届きます。もし、2日以上経っても届かない場合は、上記1の設定を見直し、2を再度行ってください。

また、茨城大学では各種情報を大学のWebページ※2で公開しています。特に、在学生向け情報※2は、一読しておいてください。留学生は、留学生センターのページ※1も一読しておいてください。また、工学部のWebページ※2、都市システム工学科のWebページ※2もあります。こちらも、チェックしておくこと。また、クラス担任からの各種情報を村上哲のWebページ※2から配信する予定です。

※1 都市システム工学科の学生は、火曜日1講時（8:50-10:20）にMM1教室で行われる講義「情報処理概論」を必ず受講してください。4/13（火）の講義中に「コンピュータ等の利用に関するガイダンス」を実施します。このガイダンスで必要な資料等は以下の3つです。必ず持参してください。

- ・「情報倫理—それはあなたが知らなければならないこと」
- ・「コンピュータ等利用に関する倫理規定」
- ・学生証とユーザID（パスワードを含む）

※2 各URLは以下のとおりです。

茨城大学 <http://www.ibaraki.ac.jp/>

茨城大学在学生向け情報 [http://www.ibaraki.ac.jp/index\\_student.htm](http://www.ibaraki.ac.jp/index_student.htm)



茨城大学留学生向け情報（留学生センター） <http://www.isc.ibaraki.ac.jp/>  
茨城大学工学部 <http://www.eng.ibaraki.ac.jp/>  
茨城大学工学部都市システム工学科 <http://www.civil.ibaraki.ac.jp/>  
村上哲のweb ページ <http://wwgeo.civil.ibaraki.ac.jp/murakami/>

### 3.4 授業料・授業料免除・奨学金・貸付制度

授業料<sup>※1</sup>は前学期、後学期とも納入期限内に、口座振替又は銀行振込により納入します。授業料免除申請者については、免除結果決定後に納入の案内を送付。未納者は命令退学となりますので注意してください。

茨城大学では、授業料免除制度、徴収猶予制度、奨学金や貸付制度があります<sup>※1</sup>。

授業料免除は、国立学校における制度で、経済的な理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業が優秀と認められる者に対してその納付を免除することにより修学の継続を容易にするものです。

徴収猶予制度は、経済的理由により納入期限までに授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合や学資負担者が風水害などの災害を受け、授業料の納入が困難であると認められる場合に、本人の申請により選考の上、授業料の徴収が猶予される制度です。延納と月割月賦があります。

奨学制度は、日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金<sup>※2※3</sup>、地方公共団体・公益法人などの奨学金、本学独自の奨学金と、私費留学生向けの日本政府(文部科学省)奨学金があります。これらはいずれも、人物・学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学が困難である学生に対して、本人の願い出に基づき選考のうえ、貸与されます。

また、本学独自の経済支援策の一つとして、経済的理由で修学に困難がある優れた学生が、有意義な学生生活を送れるように、有利な条件で利用できるよう常陽銀行・三菱東京UFJ銀行・水戸信用金庫との間で、提携教育ローン制度の協定を締結しています。

授業料免除制度、徴収猶予制度、奨学金や貸付制度についての詳細は、学務部学生生活課に問い合わせてください。

※1 【教養科目履修案内 p.103-104】

※2 日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金申込み説明会および申込み受付は下記の通りです。

説明会：共通10番教室

人文学部、教育学部 4月14日(水)12:10~12:50

理学部、工学部、農学部 4月14日(水)14:40~15:20

(都合の悪い場合は、どちらの時間帯に参加していただいても結構です。)

申込み受付：共通1号館2階第1会議室

人文学部 5月18日(火)9:00~12:00、13:00~17:00

教育学部 5月19日(水)9:00~12:00、13:00~17:00

理学部、農学部 5月20日(木)9:00~12:00、13:00~17:00

工学部 5月21日(金)9:00~12:00、13:00~17:00

※3 日本学生支援機構奨学生採用候補者に決定されている者(予約採用奨学生)は、インターネットによる「進学届」の提出が必要です。インターネットによる進学届提出手続き下記のスケジュールとなっています。

第1回締切 4月1日(木)~4月8日(木) → 4月21日(水)初回振込

第2回締切 4月9日(金)~4月26日(月) → 5月14日(金)初回振込

第3回締切 4月27日(火)~5月26日(水) → 6月11日(金)初回振込

### 3.5 学生保険

「都市システム工学実験Ⅰ」「都市システム工学実験Ⅱ」や見学会、インターンシップ、卒業研究など学生保険の加入が必須です。卒業までの4年間通用する学生保険に加入してください。例えば、学生教育研究災害傷害保険、学研災付帯賠償責任保険、学研災付帯学生生活総合保険があります<sup>※1</sup>。学生教育研究災害傷害保険と学研災付帯賠償責任保険の同時加入同等の学生保険に加入してください。まだ、手続きをとっていない人は、入学時に配布された振込用紙を用いて手続きを速やかにとってください。

学生保険の詳細は、健康保険センター1番窓口まで問い合わせてください。

※1【教養科目履修案内 p.105】

### 3.6 課外活動など

クラブや同好会活動、ボランティア活動などを行なって、楽しく積極的な学生生活を送って下さい。勉強との両立により、大きな自信が生まれます。また、部活動のメリットとして、学部、学科、学年を超えた交流ができることや、長いつきあいのできる友人ができます。団体生活にスムーズに入れるということから、就職試験で有利になることもあります。茨城大学のサークル活動は、文化、体育の多方面にわたり、194の学生団体が組織されています。

アルバイトも社会の現実を垣間見るよい機会だと思います。ただし、深夜のアルバイト（飲み屋、コンビニの深夜担当など）は賛成できません。できるだけ止めましょう。朝起きられず単位を落とし、それがきっかけとなり卒業できなかった先輩も多数います。アルバイトを始める前に、授業料免除、奨学金などで、生活費に余裕を持たせることを、まず、考えてください。

### 3.7 トラブルや困ったとき

大学内で、落し物を拾ったとき、忘れ物・落し物をしたとき、盗難にあったとき、事件・事故があったときは、学務部学生生活課課外活動係へ連絡してください。大学外で事件・事故にあったときは警察（110番）です。学内・学外で事件・事故はおこさないこと。

困ったときや、進路のような将来の悩みなど、どんなことでもクラス担任に遠慮なく相談してください。また、「茨大なんでも相談室」、学生保健室もあります。活用ください。

### 3.8 都市システム工学科のイベントなど

都市システム工学科では、授業とは別にいろいろなイベントを企画しています。たとえば、1年生工学部見学会（6月5日（土）、こうがく祭、オープンキャンパスも同時開催）、2年生歓迎スポーツ大会では、例年、教員+大学院生チーム、2年生チーム、3年生チーム、4年生チームで対戦するソフトボール大会をやっています。

また、学科に在籍する女子学生でつくる茨城大学土木系女子の会があり、土木学会主催の黒部ダム見学会に参加するなど、学内や学外の学生さん達との交流を行っています。

## 4 主なスケジュール

### 4.1 学部・学科ガイダンス

「ガイダンスのタイムスケジュール」をご覧ください。

### 4.2 ガイダンス以降の主なスケジュール

「ガイダンス以降の主なスケジュール」をご覧ください。



◇ガイダンス以降の主なスケジュール

日時・時間	時間	内容
4月9日(金)	2 講時 (10:30-12:00)	「健康スポーツ科目」ガイダンス 場所：大体育館
	正午	「総合英語」クラス分け結果の掲示 未修外国語のクラス分け結果の掲示 微分積分および力学の「基礎クラス」履修者の掲示 場所：共通教育棟2号館2Fロビーの掲示板
4月13日(火)	1 講時	「情報処理概論」(藤田) コンピュータ等の利用に関するガイダンス 場所：MM1 教室
4月14日(水)	2 講時	図書館ガイダンス(藤田) 場所：MM1 教室
	4 講時	履修相談室(村上) 場所：22番教室
4月15日(木)	15:00-15:30	工学部全女子学生健康診断 場所：保健管理センター
4月16日(金)	15:00-15:30	工学部男子都市システム工学科健康診断 場所：保健管理センター
4月16日(金) から 4月22日(木)		履修科目の登録期間 「茨城大学教務情報ポータルシステム」によりWeb入力する。 ※注意：Web入力しないと単位が認められません。
6月5日(土)	10:00-16:00	1年生工学部見学会(こうがく祭+オープンキャンパス) 日立キャンパス